

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		日本史Ⅰ Japanese History I			担当者所属 職名・氏名		人文科学研究所 教授 岩城 卓二 地球環境学舎 教授 高階 絵里加 人文科学研究所 助教 池田 さなえ		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
日本の近世から近代への移行期、いわゆる明治維新について、歴史学研究は豊富な蓄積をもつ。明治維新といえば、政治史への関心が高いが、この変革期で人々は何を経験し、また社会のあり方や人間の生き方がどのように変わったのかが知られる史料が豊富に残されているという点では、同じく社会変革の時代であった戦国から江戸時代への移行期の比ではない。そこで本授業では、市井の人々や社会の側から、明治維新の意味を考える。									
【到達目標】									
・近代の最も大きな変革期であった明治維新の考察から、変革の時代の日本が直面しうるさまざまな問題について理解する。 ・人々の生活や社会の側から明治維新の意味を考えることを通じて、社会変革をとらえる能力・視点の獲得をめざす。									
【授業計画と内容】									
3人の講師が明治維新に関連するそれぞれのテーマで各4～5回の講義を行う。									
1. テーマ 江戸時代論 担当：岩城卓二 19世紀を生きた一人の下級武士の人生から、江戸時代を生き抜くことについて考える。身分性・官僚制という江戸時代の特質と、人脈・日常生活等々、下級武士の生き様を明らかにし、武士の視点から「平和」な江戸時代を照射する。									
2. テーマ 近代日本における皇室財産の形成 担当：池田さなえ 第1回 皇室財産研究の到達点と課題点 第2回 皇室財産と産業政策 第3回 皇室財産と産業政策 第4回 皇室財産と国土保全政策									
3. テーマ 近代美術と西洋 担当：高階絵里加 開国後の日本においては、あらゆる分野に西洋化の波が押し寄せたが、美術もまた例外ではなかった。明治前期、初めて本格的な西洋芸術の概念や技法にであい、大きく変化した日本の美術について、絵画を中心にスライドで具体的な作品を見ながら考える。									
【履修要件】									
特になし									
----- 日本史Ⅰ(2)へ続く -----									

## 日本史Ⅰ(2)

### 【成績評価の方法・観点】

定期試験 各テーマ1題、計3題を出し、そのうち2問を選択して解答。  
持ち込みは不可。

### 【教科書】

授業中に指示する

### 【参考書等】

(参考書)  
授業中に紹介する

### 【授業外学修(予習・復習)等】

授業中に別途指示する。

### 【その他(オフィスアワー等)】

受講人数は100人を上限とする。

### 【主要授業科目(学部・学科名)】